

**スポーツ用義足で活躍するトップパラアスリートとパートナー契約を締結
～アスリートから得た技術や知見で歩行に難を抱える方の課題解決へ～**

株式会社三菱ケミカルホールディングス
株式会社地球快適化インスティテュート

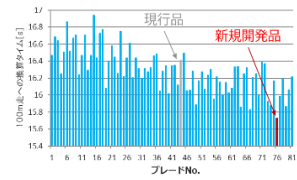
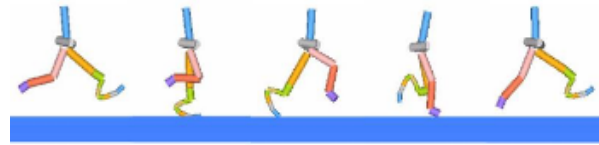
株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：ジョンマーク・ギルソン、以下「MCHC」）グループのシンクタンクである株式会社地球快適化インスティテュート（本社：東京都千代田区、社長：村山 英樹、以下「TKI」）は、スポーツ用義足を用いて陸上競技で活躍している山本 篤選手及び前川 楓選手（共に新日本住設株式会社所属）との間で、新たに義足の開発や技術開拓に関するパートナー契約を締結しました。

TKI では、「障がい」という概念を世の中から失くす」という想いのもと、2016年にチーム KAITEKI^{※1}を発足し、パラアスリートの個人の特性に合わせた用具の最適設計技術^{※2}を産業技術総合研究所、東京大学等と共に構築してきました^{※3}。この取り組みにより、デジタル技術を活用した機能の最適化に一定の成果を得ましたが、この度、日本を代表する義足のパラアスリートである山本 篤選手及び前川 楓選手と新たにパートナー契約を締結し、感性にも対応するような更なる義足の進化や技術開拓を図っていきます。

MCHC グループは、中長期経営基本計画「KAITEKI Vision30」で2030年における社会課題解決型の成長事業領域の一つとして「人快適化」を掲げています。トップパラアスリートと得られた技術や知見は、歩行に難を抱える方々を支援するための用具開発やサービスの実現へ向けて社会へ還元していきます。また、超高齢社会においては、QOL（Quality of Life）の向上のためにも歩行は重要な要素です。本活動を通じてMCHC およびTKI は健康でいきいきと暮らせる社会の実現に貢献していきます。



山本選手、前川選手



デジタル技術を活用した義足ブレード機能の最適化

*1 「KAITEKI」とは、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続く状態」を表し、環境・社会課題の解決にとどまらず、社会そして地球の持続可能な発展に取り組むことを提案したMCHCグループオリジナルのコンセプトです。

*2 人が使用する用具を最適化するには、用具の性能によって人が無意識的に動作を調整してしまうことまで考慮する必要があります。特に義足によるスポーツでは、義足をつけていない方の足（健足）の動きも重要になります。そこで、「デジタルアスリート」と呼んでいるシミュレーションモデルを構築し、コンピュータ上で繰り返し何度でも、危険や疲れのない状態で走れるようにし、その個人のパフォーマンスを最大化する義足形状を算出しています。

[※3 TKI 論文「競技用義足ブレードのパーソナライゼーション ～パラスポーツと共に創るレガシーとは？～」](#)

本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス
コーポレートコミュニケーション室
電話：03-6748-7140

(株) 地球快適化インスティテュート
総務企画室
電話：03-6748-7170